**自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **№** | **タイトル** | **評価項目** | **自己評価** | **記述** | **運営推進会議で話しあった内容** | **外部評価** | **記述** |
| **Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営** | | | |  |  |  |  |
| 1 | 理念の共有と実践 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎朝、申し送りにて勤務者全員で当社の組織理念と一緒に唱和を実施している。 |  |  |  |
| 2 | 事業所と地域とのつきあい | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ禍で数多くの交流は出来ていないが、現状での出来る範囲で交流を行っている。 | 社全体として、地域に根ざした施設作りを目標としており、事業所と地域とつながりながら利用者が生活できるよう協力があるものの、コロナ禍にて積極的な交流は行えています。 |  |  |
| 3 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 外部の運営推進会議メンバーの方を交えての推進会議はコロナ禍で行えていないが、少数の推進会議メンバーの方と事業所内での推進会議は実施しており、またそれ以外でも日常的に報告や意見、話し合いを行い、サービス向上に取り組み活かしている。 | 外部の運営推進会議メンバーの方を交えての推進会議はコロナ禍で行えていないが、少数の推進会議メンバーの方と事業所内での推進会議は実施しており、またそれ以外でも日常的に報告や意見、話し合いを行い、サービス向上に取り組み活かしている。 |  |  |
| 4 | 市町村との連携 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 機会がある毎に連絡や実情を  お伝えすることができている。 | 事業所は機会がある毎に連絡や実情をお伝えすることができており、社全体としても市町村担当者と連絡は日頃から図りながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。 |  |  |
| 5 | 身体拘束をしないケアの実践 | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 定期的に「身体拘束をしないケア研修、委員会」を実施し身体拘束の対象となる行為を正しく理解しており、、施錠や抑制帯等での拘束は行わないケアに取り組んでいる。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 6 | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 定期的研修にて「高齢者虐待防止について」全職員で学ぶ機会を設けている。また虐待が発生しないよう事業所内には防犯カメラ設置、観察や防止に努め実践できている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎年定期的に「権利擁護制度と理解」について全社員向けに研修を行い、学ぶ機会を設けている。 |  |  |  |
| 8 | 契約に関する説明と納得 | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 契約の締結、解約また改定等の際は充分に時間を取り、専門用語を極力控え、一般的に使用されているわかりやすい言葉で説明行い、疑問がないか質問もうかがっている。 |  |  |  |
| 9 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ご利用者様、ご家族様が意見、要望を管理者ならびにホーム長及び職員へ伝えることや聞き取る機会を設け、運営に反映させている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎月1回全体ミーティングを実施し、職員の意見・提案の機会を設けている、　日常的にも業務見直しなどの運営に関することは議題を振り、職員全体で検討し提案、実践している。 |  |  |  |
| 11 | 就業環境の整備 | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 代表者は週１回の代表者、開設事業責任者および管理者で会議を行い、職員がやりがい、向上心を持って働けるよう職場環境・整備に常に意識し努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 12 | 職員を育てる取り組み | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 法人内での研修は毎月１回実施している。法人外研修は職員の希望により受ける機会の確保に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上 | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 社内６事業所での毎週１回の会議にて交流する機会やネットワーク作りなど実施。社外ではコロナ禍にて交流する機会は減少しているが、地域包括支援センターとの交流は定期的にあり質の向上をさせていく取り組みを行っている。 |  |  |  |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ご利用者様の性格や価値観の観察を行いながら、出来ること(簡単な洗い物や洗濯畳みなど)付かず離れず見守りし、生活の場として支援している。 |  |  |  |
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 馴染みの人との関係とし、コロナ禍のため家族以外は積極的に支援を行っていないが、家族様とは電話で話しや面会をしていただいている。 | コロナ禍のため、積極的に面会や関係継続の支援を行っていないが、家族親族との面会や電話連絡は定期的に行えるよう取り組んでいる。 |  |  |
| **Ⅱ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | |  |  |  |  |
| 16 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 事業所は月1回程、外出レクや毎日、午前中体操、午後レクリエーションを提供しているが、無理な参加の声かけはせず、過ごし方や希望・意向の把握に努めている。 |  |  |  |
| 17 | チームでつくる介護計画とモニタリング | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | A．充分にできている B．ほぼできている C．できていない D．ほとんどできていない | 毎月１回ミーティング時に、利用者一人一人のカンファレンスを実施し、介護計画に反映することが出来ている。また家族からの聞き取りも行い、反映されている。 | 事業所は毎月全体ミーティングにて利用者様のカンファレンスを実施、また定期的にご家族や関係各所(薬剤師、歯科医師、歯科衛生士、内科主治医)へ聞き取りや相談を行い、現状に即した介護計画を作成している。、 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 18 | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 日々の記録を分かりやすくする為、記録の形式を見直し調節している。毎日の申し送り、申し送りノートで情報共有できている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 19 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | その時々に生まれるニーズについて、状況をスタッフや家族へ連絡相談行い、可能な限り多機能化したサービス(個別の買い物支援など)の取り組みを実施し、希望に添えるよう努めている。 | 現状はコロナ禍のため限られた範囲で、その時々に生まれるニーズに対して、事業所は柔軟な支援やサービス多機能化に取り組んでいる。 |  |  |
| 20 | 地域資源との協働 | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 健康管理、口腔ケアに力を入れており、毎食前の口腔体操や午前中は軽運動を実施している。また歯科往診、居宅療養管理指導も受け、体が動くこと、食べる事が健康の基本であり、楽しみで生きる意欲と考えている。 | 現状はコロナ禍にあり、地域サロンやオレンジカフェなどでの交流はないが、協力医療機関と連携を図り、利用者様の身体機能維持や精神的に穏やかに過ごせるように努めている。 |  |  |
| 21 | かかりつけ医の受診支援 | 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 協力医療機関から月２回内科往診を受けられ、また本人や家族が希望されている他医療機関受診もされ、希望に沿った適切な医療を受けられている。必要があれば、随時受診も行っている。 |  |  |  |
| 22 | 入退院時の医療機関との協働 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 月２回の内科往診、週１回の居宅療養管理指導の実施にて関係各所やかかりつけ医療機関との連携は取れている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入所時の契約にて、看取りや延命処置等の説明、及び意思確認を行い、本人の状態により地域関係者も含め適宜共有出来ている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 24 | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 定期研修にて「緊急時の対応」や「事故防止の知識」等で全社員に学ぶ機会を設け、緊急時に落ち着いて対応できるよう努めている。 |  |  |  |
| 25 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 年２回の消防訓練の実施や、定期的研修「非常災害時の対応」　にて、職員の共通認識が図れている。 | 年2回の消防災害訓練にて避難できる方法を身につける帰化を設けている。また地域の自治会へ訓練実施状況や日程連絡を行っている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | |  |  |  |  |
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 定期研修「法令遵守」や「プライバシーの保護と取り組み」等の研修を行い、日々業務で実践できている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 事業所理念に「健やかで穏やかな生活のお手伝いをいたします。」と掲げている。　利用者の方が自分のベースで安全に過ごして頂ける事を第一に考え、実践できている。 |  |  |  |
| 28 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 利用者様とご一緒に配膳車を返却に行ったり、コップ洗い、洗濯干し・たたみ等、出来る事は利用者の方と一緒に準備や後片付けを行っている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 食事量や水分摂取量を毎日計り、水分摂取の少ない方には、個別に提供を行い脱水や熱中症対策に努めている。 |  |  |  |
| 30 | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎食前に、口腔体操の徹底をしている。食後には、声掛けや出来ない方には歯磨き介助や義歯洗浄の支援を行い、清潔保持につなげている。また１０月から歯科往診を取り入れる予定である。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 31 | 排泄の自立支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 本人の希望時に、トイレ誘導を実施。また、排泄表を確認し、時間が開いている時は声掛け行い、トイレでの排泄を促している。また便秘予防として、毎日体操を実施している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 32 | 入浴を楽しむことができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎回声かえを行い、特に曜日は固定せずに、利用者の方の体調や状況を見て、柔軟な対応を行っている。 |  |  |  |
| 33 | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 夜間良眠できるように、メリハリのある生活を送って頂けるよう努めている。強制はせず、その時の状況に合わせ支援を行っている。 |  |  |  |
| 34 | 服薬支援 | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 週に１回居宅療養管理指導を受け、管理指導内容は職員間で共有し、利用者の経過観察に努めている。また用法や容量、副作用について理解に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 35 | 役割、楽しみごとの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 出来る事や嗜好品、楽しみごと、依然親しんであった趣味活動など、自分たちで行って頂くよう支援し、一人ひとりの尊厳を大切にしている。役割を担う事で、生きる活力になっていると感じる。 | 事業所は入所時にご家族よりそれぞれの嗜好品や楽しみごと、慣れ親しんだことを続けてもらいたいなどのお話しあるため、実施し尊厳を大切にしたいと考えている。 |  |  |
| 36 | 日常的な外出支援 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ渦の為、家族や地域の人々との交流で積極的な戸外活動は行っていないが、事業所として月１回外出レクや施設の周りを散歩するなど出かけれるよう支援している。 | 事業所はコロナ渦の為、家族や地域の人々との交流で積極的な戸外活動は行っていないが、月1回は外出レクレーションの実施に努めている。また施設敷地内は天気が良い日はわずかな時間でも散歩に出かけるよう支援している。 |  |  |
| 37 | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 外出にて利用者が選択した物を購入する機会も設けている。その際は家族へ相談し、買い物支援等でお金の出し入れを行って頂いている。 |  |  |  |
| 38 | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 本人の希望で家族に連絡をいれるよう支援している。携帯電話の持ち込みは許可しており、自分で連絡を取られている方もおられる。 |  |  |  |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 季節を感じて頂く為、季節に合った壁紙を手作りして頂き掲示している。定期的に席替えを行い誰でも自由に座れるよう配慮し、リビングスペースにはテレビとソファーを設置し、利用者様がいつでも心地よく使用でき、過ごせるよう工夫している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| **Ⅳ．本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）** | | | |  |  |  |  |
| 40 | 本人主体の暮らし | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 事業所理念に「寄り添い・明るく過ごせる生活のお手伝いをいたします」と掲げている。目安箱を設置し、利用者様の声に耳を傾けるよう努めている。 |  |  |  |
| 41 | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 職員は事前にアセスメントを参照し、また定期的に家族へ連絡行い生活状況を伝え、希望要望を聴き取り、共通理解のもと支援を行っている。 |  |  |  |
| 42 | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 月２回内科往診を受けられ、異常時の早期発見、早期対応に努めている。必要に応じて受診対応を行っている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 43 | 生活の継続性 | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 集団生活であるが、これまでの暮らし習慣を取り込みながら出来る限り自分のペースで生活して頂けるよう努めている。 |  |  |  |
| 44 | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 貴重品の持ち込みの際は、相談して頂き、なじみのものや大切にしているものを持つことをして頂き、本人の意向に沿えるよう努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 45 | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ渦の為、必要最低限の支援にて戸外に出かけることをおこなっている。施設内でも館内合同で催し(お正月、バイキングなど)を実施し、また月1回は全利用者で外出するよう努めている。 | 必要最低限の支援にて戸外に出かけることをおこなっている。施設内でも館内合同で催し(お正月、バイキングなど)を実施。 |  |  |
| 46 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 出来る事は自分で行って頂けるよう支援している。毎日何かお手伝いをして頂き、役割として認識でき、心の充実感につながるよう努めている。 |  |  |  |
| 47 | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 職員が間に入り、現役だったころの話や利用者の方同士のコミュニケーション、活動の場面を得る事が出来るよう努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 48 | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ渦の為、家族以外との交流は積極的に行っていない。家族とは、電話や窓越し面会を定期的に行っている。 | 現状、コロナ禍のため、家族以外との交流は積極的に行っていない。 |  |  |
| 49 | 総合 | 本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ渦の為、地域の人々との交流はないが、入所したことにより、落ち着かれ、表情穏やかに過ごされ、限られた空間の中では行動に混乱が少なくなり、家族の方からも安心して入所させることが出来ているとの声を頂くことが多くある。 | 現状では地域の方々との交流はないが、同施設内での交流は定期的に行っている。またご利用者様は日常生活での表情は良く、特に大きな不穏言動なく過ごされており、ここ(GH)での生活には安心して、穏やかに生活されていると見ている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |